



アメリカとのホストタウン交流について



スポーツツーリズムの推進

成田市は、東京2020年オリンピック・パラリンピックの開催を絶好の機会と捉え、**スポーツツーリズムの推進**を重点施策の1つと位置付け、積極的に各種大会や事前キャンプの誘致などに取り組んでおり、その一環としてホストタウン事業にも取り組んでいる。

ホストタウン登録までの取組み

2015年8月に北京で開催された第15回IAAF世界陸上競技選手権(世界陸上北京大会)において、**世界一の陸上強国と呼ばれるアメリカチームの事前キャンプ**を受け入れた。その期間中、交流の日を設け、アメリカチームと小学生との交流イベント「**run jump throw**」がアメリカ国外で初めて開催されたり、練習が一般公開されるなどした。また、その前日には成田山新勝寺において、必勝祈願の御護摩祈禱を行い、日本の文化を体験する機会を設けるなど、アメリカチームと様々な交流の時間を持つことができた。

(世界陸上北京大会アメリカチーム事前キャンプの様子)



公開練習や市民との交流



成田山新勝寺における文化体験





アメリカとのホストタウン交流について



2020年オリンピックの事前キャンプ合意、ホストタウンの登録

2015年の事前キャンプにおける千葉県を挙げてのおもてなしがアメリカ陸上チームから非常に高い評価を受け、**2016年5月、アメリカ陸上チームと千葉県、成田市、佐倉市、印西市、順天堂大学との間で2020年オリンピックの事前キャンプを千葉県で行うことで合意。**これをきっかけとし、2016年12月、成田市、佐倉市、印西市の3市連名で、アメリカを対象とするホストタウンとして登録。



今後の交流予定

2017年

2018年

2019年

2020年、そしてその先へ向けて

・アメリカの陸上競技のコーチやアスリートを招聘し、地域住民と交流

→**2015年の事前キャンプ時に来日したコーチやアスリートを招き、2018年1月に小学生や中学生を対象とした陸上クリニックを開催。地域との交流や、日本遺産を活用した文化体験なども検討。**

・3市合同による、ホストタウン事業の開催

→開催に向け、現在検討中。

・パラリンピック競技普及のための体験会や講演会、オリンピックやパラリンピアンを招いた機運醸成イベントなどの開催

→開催に向け、現在調整中。

・現在も行われている、姉妹都市であるサンプルーノ市の中学生との文化的、人的交流の継続・発展

※他にも、食に関する交流などについても今後検討

